

らいぶスクエア

総合的な学習の時間の実践例

～火星に関する「電子絵本」作成プロジェクト～

理科

6年A組担任

久保 文人



1 人類の希望といえる「火星」

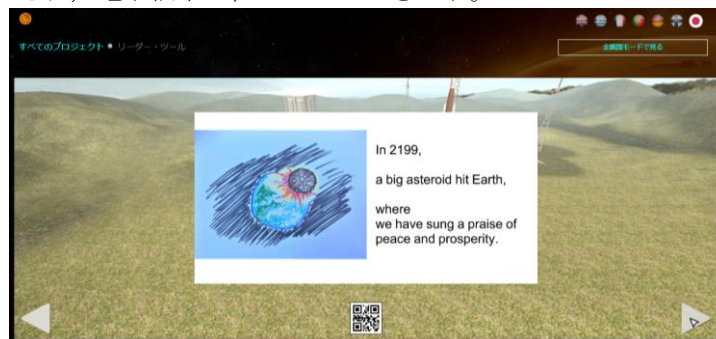
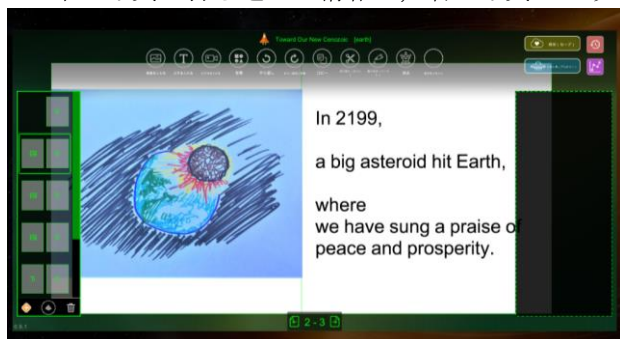
『米航空宇宙局（NASA）は11月26日午後（日本時間27日午前）、無人探査機「インサイト」が火星に着陸したと発表した。極めて精密な地震計などを使って約2年間、火星の内部構造を調べる。火星だけでなく、地球を含む岩石でできた太陽系の惑星の成り立ちに迫ることを目指す。火星着陸に成功した探査機はインサイトで8基目。NASAのブライデンスタイン局長は「将来月や火星に宇宙飛行士を送るために役立つデータをもたらしてくれるだろう」とコメントした。インサイトは5月に打ち上げられた。火星の高度約125キロで大気圏に突入。減速後に赤道のやや北側に着陸した。』これは共同通信による2018年11月27日の記事です。

日本に限らず世界中で注目を浴びている宇宙の関心事の一つに「火星」が挙げられるのではないのでしょうか。地球温暖化をはじめとする様々な環境問題が深刻になっている今日において、火星に移住することができれば、それは人類にとって大きな希望になります。「昔は水があった」「大地がある」「酸素はない」などまだまだ調査レベルですが、少しずつ進んでいるのは間違いありません。

2 火星に関する「電子絵本」を作成することを目的に

今年度、この「火星」を学びにつなげようとするあるプロジェクトに縁あって参加させていただくことができました。「Story of Tomorrow」（略称：SoT）という団体をご存知でしょうか？初めて耳にする方も多いのではないのでしょうか。SoTは簡単に紹介しますと、ヨーロッパの国を中心に火星や宇宙をテーマに学びに取り入れようと研究しています。そこに和歌山大学の富田晃彦先生を通じ、私も参加させていただく機会をいただきました。今年度、「火星に関する“電子絵本”を作成する」ことを目指して取り組んでいます。

左下の写真で打ち込んだ情報が、右の写真のように反映され、電子絵本が仕上がっていきます。



3 この取り組みの可能性

総合的な学習の時間に位置付けて取り組んだときの可能性を考えてみました。

① 体育科との関連「宇宙船で過ごすためのトレーニング」

宇宙船の中は無重力でトレーニングが必要です。どんな力が必要か調べ、それに実際に取り組むことで、情報を収集する力などが育まれると期待できます。

② 家庭科との関連「何もないところからの野菜作り」

火星に住もうと考えても食料がありません。そこで一から作成するために野菜をつくる体験をします。土づくりから始まり、種まき、肥料、継続的に育てることが必要です。この活動に取り組むことで、粘り強さや野菜を育てるための問題解決力などが育まれると期待できます。

③ 国語科との関連「お話をつくらう」

絵本を構想し、それを電子絵本で表現する取り組みもできます。国語科で物語を作った後にしてみてもよいかもしれません。表現力や文章構成力が育まれると期待できます。

もちろんまだまだ期待できるところもあるでしょう。ゲストティーチャーとの接続でさらに深まる取り組みにもなります。

もし興味がございましたらいつでもご連絡ください。